

希才 咲きさだまりて諏訪
北大路魯山人展

2025年

9月12日(金) → 11月3日(月)

※ 9月12日(金)は15時～開館

SUWA ガラスの里の美術館

入館料/1,000円(中学生以下無料)

開館時間/10:00～18:00(10月より17:00閉館)休館日/毎週火・水曜日

主催/すわ魯山人展実行委員会

共催/日本精機工業(株) しぶや(株)黒田陶苑 (株)信州諏訪ガラスの里

後援/諏訪市 諏訪市教育委員会 諏訪商工会議所 (一社)諏訪観光協会

諏訪湖温泉旅館協同組合 霧ヶ峰旅館組合



SUWAガラスの里

長野県諏訪市豊田 2400-7 TEL:0266-57-2000

<https://garasunosato.com>



於里遍組板鉢

KISAI Saki Sadamarite SUWA KITAOJI ROSANJIN Exhibition

北大路魯山人は、料理人、書家、陶芸家として多彩な才能を発揮しながら、生涯を通じて「美」と「用」の調和を追求し続けた芸術家です。その作品は、日常の中に美を取り入れることの豊かさを教えてくれます。魯山人の器には、大胆さと繊細さ、機能性と芸術性が見事に融合しており、単なる道具を超えた「美の器」として多くの人々を魅了してきました。

また、ここ諏訪の地には、古くから受け継がれる手仕事の文化があり、「人の手から生まれる美」という点で、魯山人の精神とも深い共鳴を感じさせます。

本展を通じて、魯山人の作品に込められた美意識と創造の力に、ぜひ触れていただければ幸いです。

織部蟹絵文平向付 五客



希才咲き定まりて諏訪

北大路魯山人展



北大路魯山人 年譜

1883年 京都上賀茂北大路町に生まれ、のちに福田家に養子入り。

1893年 梅屋尋常小学校卒業後、薬屋に丁稚奉公。書と美術に目覚める。

1896年 木版の仕事を手伝いながら書を独学。2年後、「一字書き」に応募。最高賞受賞。

1903年 徴兵検査近視のため、兵役免除。上京し京橋に居住。

1903年「日本美術協会美術展覧会」書の部で褒状一等三席を受賞。

1910年～1912年 朝鮮・中国各地で篆刻・書を学び、帰国後、看板、篆刻をはじめ。

1915年 北大路姓に戻り、「魯卿」と名乗る。多くの温情を受ける金沢の細野燕台に出会う。

1922年「北大路魯山人」と正式に改名。京橋大雅堂の「美食倶楽部」が盛況となる。

1925年 調理、食器一切の設営、来客接待、服装に新意を盛り、会員制料亭「星岡茶寮」を開業。

1926年 鎌倉山崎に星岡茶寮で使用する食器の制作のため、「星岡窯」(ほしがおかがま)を築窯。

1930年 機関誌『星岡』第一号を10月22日に創刊。

1954年 ロックフェラー財団招聘でニューヨーク近代美術館「魯山人展」。ピカソやシャガールと交流。

1955年 文化財保護委員会から国指定重要無形文化財保持者(人間国宝)の認定を辞退。

1959年 最後の個展後、12月21日逝去(享年76)。以後 回顧展・出版多数。2009年、生誕地に記念碑が建立。



SUWAガラスの里

長野県諏訪市豊田 2400-7 TEL: 0266-57-2000

<https://garasunosato.com>

問い合わせ / 日本精機工業(株)

TEL: 080-1321-1313

MAIL: nskgaa1@gmail.com